

発 言 通 告 書 < 総括表 >

平成19年 第4回 定例会 代表質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	戸張議員 (自民)	1 (仮称)障害者福祉センターについて 2 後期高齢者医療制度について 3 九段中等教育学校の用地等について	お茶の水に設置される(仮称)障害者福祉センターの機能等について 後期高齢者医療制度の保険料の考え方、低所得者層に対する対応等について問う。 九段中等教育学校の用地の東京都からの移譲及びスケジュールについて問う。	区長及び関係理事者
2	木村議員 (共産)	1今定例会で決着すべき二つの問題について 2来年4月から実施されようとしている医療制度「改革」について 3「官から民へ」の構造改革について	企画総務委員会の沖縄への行政視察について ふたたび地球温暖化対策条例案について 後期高齢者医療制度について 医療費適正化計画について 特定健診・保健指導について 職員サポートデスクは偽装請負とならないか 福祉現場で働く民間労働者の労働条件の改善を	区長、関係理事者
3	大串議員 (公明)	真に自治・分権型の計画行政を目指し、総合計画のあり方を問う	第三次総合計画の今日まで果たしてきた成果と課題は何か？ (石川区政6年の成果と課題は何か？) 区民が日常参照する総合計画にしていくためには何が必要か 評価の方法について	区長並びに関係理事者
4	小枝議員 (声2)	1、地球温暖化対策について 2、都市開発の環境手法について	1)学校教育における環境教育こそが、有効な環境対策への近道である。子どもから親へ、おじいちゃんおばあちゃんそして地域、職場へと伝わる効果は大きい。千代田区における環境教育の現状と今後を問う。 2)地球温暖化対策カレンダーについて 3)区内大使館・新聞社などの協力を得て、子どもと住民の地球温暖化対策国際シンポジウムなど住民集会を行い、都市住民が果たせる役割を、住民とともに考え、住民とともに推進することについて 京都・国分寺・練馬・新宿・世田谷・富山など、全国各地の自治体が競って、都市開発の環境手法を取り入れている。千代田区としての手法を問う。	区長ならびに関係理事者